

前回の振り返り（各委員から出た意見）

（１）中野区子どもの意見表明・参加に関する取組の実施状況

- 意見等なし（事務局からこれまでの実施状況に関する説明）

（２）中野区子ども総合計画令和５年度事業実績の評価・検証

- 「子どもの最善の利益」の視点について、特に重要であると考えているが、大人からの視点だけでなく、実際に子どもに聴いた結果から評価を書くことが必要なのではないか。また、評価の初年度でもあることから、やれていないのであればそのように書いたうえで、これから子どもの意見を踏まえた評価ができるようになっていくとよいのではないか。
- 公園の再整備や文化芸術の件について、子ども向けのアンケートを行った際、子どもからの意見とフィードバックがわかりやすいような結果の公表をしてもらえるといい。
- 行政側の自己評価も必要だが、当事者である子どもへの意見を聴くことはとても重要である。「子どもの意見表明・参加の手引き」なども活用しながら、庁内で子どもの意見を聴いたうえでの評価がされていくとよい。

（３）令和５年度中野区子どもの権利救済委員（子どもオンブズマン）活動報告

- 子どもの意見を聴きながら、関係機関との調整などとても丁寧に時間をかけて解決につなげていくという活動をしていることに感動した。
- 子どもオンブズマンの活動や、困ったときの相談先があるということについて、子どもに関わる大人や、子ども自身に知ってもらうことがとても大切だと感じた。